

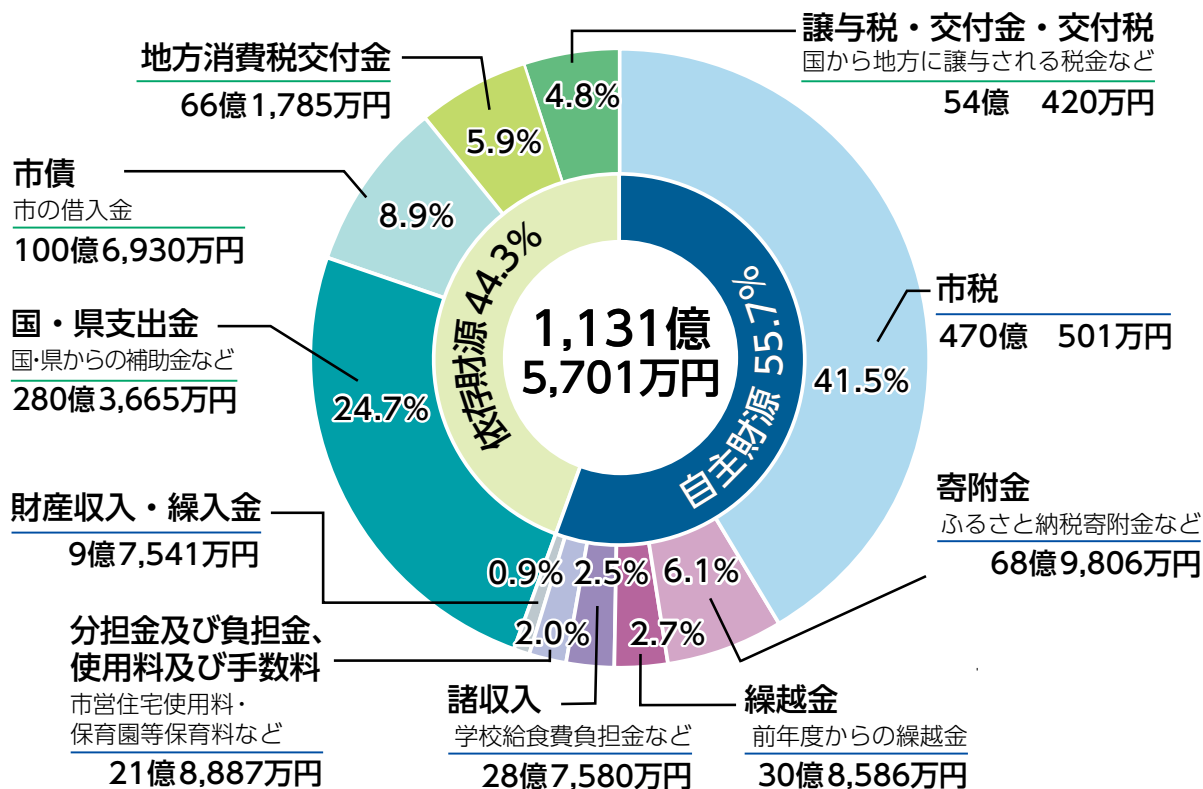
令和 6 年度 決算報告



皆さんの納めた税金が、この 1 年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

▲詳しくはこちら

問合せ／財政課 ☎55-2725 📠51-1479



歳入

年度内に入ったお金

一般会計決算

歳入の約4割は市税



市税の内訳

区 分		決算額
市 税		470 億 501 万円
	個人市民税	144 億 6,888 万円
	法人市民税	25 億 7,725 万円
	固定資産税	233 億 2,646 万円
	軽自動車税	9 億 1,064 万円
	市たばこ税	19 億 7,802 万円
都市計画税		37 億 4,376 万円

これは、多くの企業で業績が好調だったことにより法人市民税が増となった一方、定額減税による個人市民税の減がそれを上回ったことが主な理由となっています。

歳入 543 億 678 万円

歳出 529 億 9,682 万円

特別会計区分	歳 入	歳 出
国民健康保険事業	228 億 2,922 万円	227 億 9,827 万円
後期高齢者医療事業	67 億 4,488 万円	67 億 3,084 万円
介護保険事業	215 億 5,702 万円	212 億 8,432 万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	17 億 1,073 万円	16 億 7,640 万円
第二東名 IC 周辺地区土地区画整理事業	12 億 8,020 万円	3 億 4,542 万円
森林財産特別会計	8,510 万円	7,826 万円

富士市には 12 の特別会計（令和 6 年度）がありますが、表中では駐車場事業特別会計、財産区特別会計（5 会計）を省略しています。

特別会計とは

特別会計決算

特定の事業を行うため、一般会計と区分けして設けた会計です。事業収益や一般会計からの繰入金などが主な財源で、行政と一体となり、経営・運営を行っています。



悪化

754 億円→**785 億円**

■ **一般会計の市債残高**

自治体の借金の残高
総合体育館の建設事業に伴い、新規借入額が大幅に増となったため、増加しました。



改善

63.8%→**59.8%**

■ **将来負担比率**

自治体が将来支払う可能性がある負債の財政規模に対する比率

新病院建設基金など充当可能基金の増により、改善しました。

また、早期改善化基準である350・0パーセントを大きく下回っていて、健全な財政状況となっています。



横ばい

90.4%→**90.3%**

■ **経常収支比率**

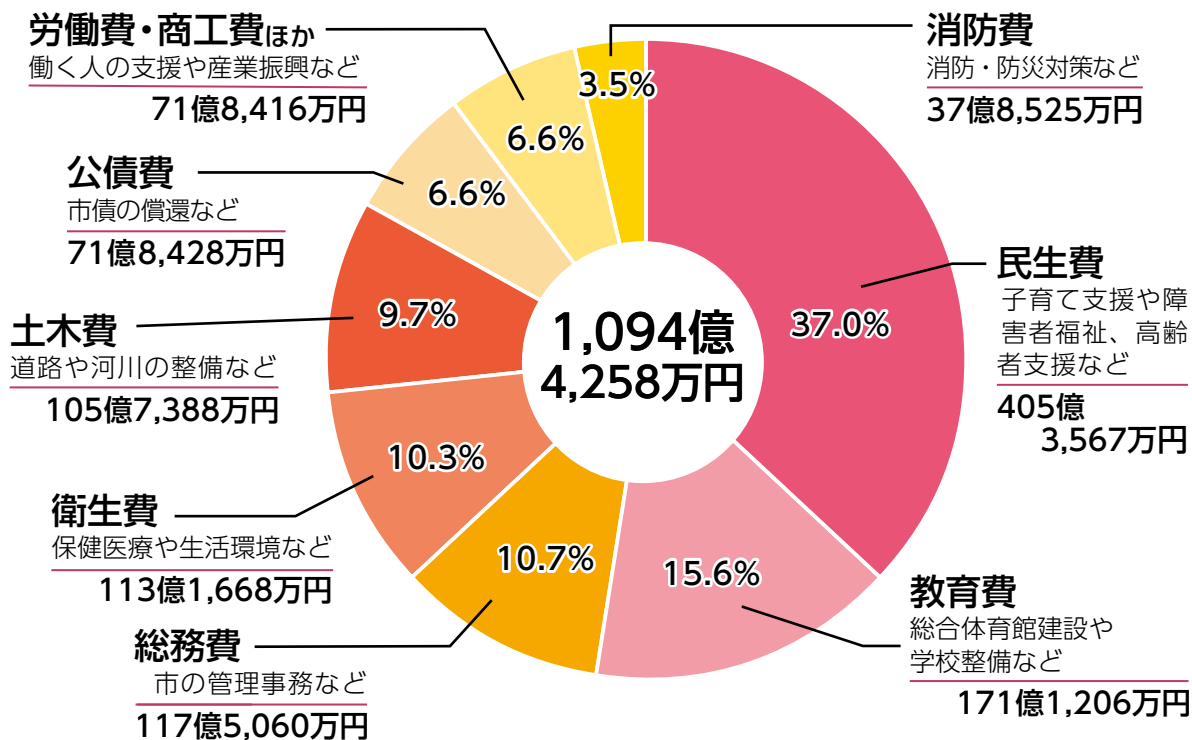
市税など毎年度収入される財源のうち、義務的な経費など、毎年度支出される経費に充てた割合

経常経費、経常一般財源ともに増加したものの、経常収支比率は横ばいとなりました。

富士市の財政状況

歳出

年度内に使ったお金



歳出を年間の市民1人当たりの金額に換算してみると… (前年度比)

民生費

16 万 5,105 円
(+ 7,818 円)

教育費

6 万 9,699 円
(+ 1 万 5,106 円)

総務費

4 万 7,861 円
(+ 5,533 円)

※令和7年4月1日時点の人口(24万5,514人)を基に計算しています。

歳出は、目的別に見ると、子育て支援や福祉関係の費用である民生費が37パーセントを占め、最も多くなっています。

これは、障害者自立支援費や児童手当などの扶助費が増加したことなどによります。

次いで、教育費が15・6パーセントとなり、総合体育館の建設や体育施設の緊急補修事業を実施したことなどによります。

歳出は民生費が最多



「さもちゃんと学ぶ財政の基本まるわかりBOOK」を作成しました。ぜひご覧ください。

病院事業

事業収益合計
158 億 7,118 万円

事業費用合計
166 億 6,853 万円

純損失
7 億 9,735 万円

公共下水道事業

事業収益合計
61 億 4,744 万円

事業費用合計
50 億 9,673 万円

純利益
10 億 5,071 万円

水道事業

事業収益合計
44 億 451 万円

事業費用合計
34 億 3,367 万円

純利益
9 億 7,084 万円

法令に基づき、独立採算を原則に企業の経営で運営される会計です。

企業会計とは

企業会計決算